



夏の光、夏の音

Summer Light Summer Sound

北原 夕 KAZUKI

星川 恵美 森 今日子 樹輝 芽和 鈴木 ただし 小寺 克英 森野 くるみ 片田 陽子 白澤 康宏 熊田 佳奈子

監督・脚本：八十川 勝

2019年製作 110分

製作著作：垂水映画劇団

三田市身体障害者福祉協議会 推薦



2023年10月1日(日) 山口ホール

西宮市山口町下山口4-1-8

↑ アクセス地図

13:30開演 13:00開場

入場無料

主催：山口ホールもりあげ隊

後援：西宮市山口地区社会福祉協議会

想いとどけ。近くて遠い、世界を超えて。

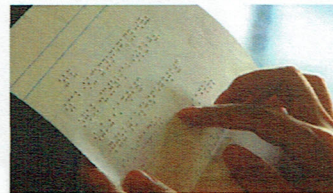


国際映画祭で高い評価を受けている兵庫県の注目監督 八十川勝期待の新作長編がついに解禁！

introduction

「歌声を聴いてほしくて」「がんとモ」等、聴覚障害者のコミュニケーションやがん患者の日常といったマイノリティの“感性”を繊細にすくいとり、丁寧に描く八十川勝。カンヌへの出展をはじめ国際的に活動する彼の最新作である本作は、視覚と聴覚、それぞれに障害を持つ人へ監督自ら徹底したリサーチを行い制作されました。「見えない」と「聞こえない」。日常のすぐ近くにありながら、健全者にとっては想像の遥か向こうにある別世界となってしまうがちな障害者の感覚、彼らがとらえる「世界」を、二人の主人公の夏を通して描いています。

視覚障害を持つ喫茶店の店員・麻衣を演じたのは、「歌声を聴いてほしくて」でろう者の主人公を好演した北原夕。今回は「見えない」の感覚をつかむため、実生活でも白杖を使用しながら演技に挑みました。もう一人の主人公であるろう者の青年・健太郎を演じるのは、自身もろう者であり、手話歌パフォーマーとして全国的に活躍中の KAZUKI。そのほか喫茶店の店長・智子に星川恵美など、垂水映画劇団メンバーが多数出演。神戸、明石、三田など兵庫の美しい夏の風景を舞台に、さわやかな感動の風が吹き抜けます。



story

喫茶店で働く全盲の女性・麻衣のもとに、ある日無愛想な客がやってきた。健太郎という若い男、彼は耳の聞こえないろう者だった。「見えない」と「聞こえない」、二人の世界は決して交ざり合うことなどないと思った麻衣だが、あることがきっかけで少しずつその距離は縮まっていく。店長の智子や常連客たちに見守られながら、「できないこと」による隔たりをこえていく、二人のひと夏の物語。



制作：星川恵美 撮影：有安あり/八十川勝 録音：小寺克英/熊田佳奈子/白澤康弘 編集：八十川勝 主題歌：コノハコトノハ 音楽：飯田恵 宣伝美術：北原夕 文章協力：北堀江ルイ子
撮影協力：カフェアンドゥ/谷間に3つの鐘がなる/神戸空港 www.tarumimovie.com 垂水映画劇団